記入日：

１　地区の場所

|  |
| --- |
|  |

 ※ 地区の範囲を明示した地図等の提出が必要（対象地区は京都市内に限ります）

２　情報提供した理由等

①　該当する□にチェック☑をお願いします（複数可）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ａ | 伝統的な形態・意匠をもつ京町家が連担している，又は奥庭が連担している地区であるため | □ |
| Ｂ | 時代や地域の特徴をもつ京町家が残る地区であるため | □ |
| Ｃ | 伝統行事や地域とのかかわりがある京町家が残る地区であるため | □ |
| Ｄ | 伝統的なものづくり，商いに応じた建て方や形態・意匠が残っている京町家が残る地区であるため | □ |

②　上記（Ａ～Ｄ）のチェック☑をつけた項目について，その状況を出来る限り具体的に記入してください

|  |
| --- |
|  |

③　指定候補を１の範囲とした理由について具体的に記入してください

|  |
| --- |
|  |

 ※ 上記③で記載した内容について記載された文献や資料等があれば提出してください

３　情報提供者について

　あなたの氏名，住所等を記入してください

|  |  |
| --- | --- |
| 情報提供者の氏名(法人その他の団体はその名称及び担当者名) |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話 |  | ※ 昼間に連絡が取れる番号を記入してください |
| Mail |  |
| 情報提供者と情報提供を行う地区との関わりについて記載してください。（例：〇〇学区自治連合会会長，△△町内会会長，等） |
|  |
| 今回の情報提供にあたっての，地域への説明状況について記載してください |
|  |

４　提出書類

|  |
| --- |
| □ 地区の状況がわかる写真 ※ ２②記入欄に記載した内容の具体的な状況がわかる写真を複数枚添付してください ※ 写真には撮影日がわかるようにしてください ※ 昔（概ね７０年前以上）の状況がわかる写真等があれば添付してください（任意） |
| □ 地区の範囲を明示した地図　　※ 範囲を赤線等で囲ってください |
| □ 地域の歴史等について記載された文献や資料等（任意） |

|  |
| --- |
| 【注意事項】１　ここでいう京町家は，京町家条例に規定する京町家(※１)をいいます。２　皆さまからいただいた情報を基礎資料として，京町家条例に基づく地区指定(※２)の候補を選定するものであり，情報提供をいただいた地区を必ず指定するものではありません。３　情報提供をいただいた順番に検討するものではなく，指定の必要性（趣のある町並みや生活文化の状況）等を踏まえて検討を行います。検討状況に関するお問合せについては，回答いたしかねます。４　主な情報提供者は情報提供をする地区の代表者や，まちづくり活動の代表者等を想定しています。情報提供にあたっては，可能な限り地域の皆様への周知・説明をお願いします（範囲の理由も含め周知・説明をお願いします。なお，京都市から情報提供者の氏名・住所を同意なく公開することはいたしません。）。５　１つの地区に対して本様式を１部作成してください。６　内容の確認のため，情報提供者に連絡することがあります。記入漏れ，内容が不明瞭なもの，情報提供者に連絡がつかないものは，情報提供を受付しかねる場合があります。※１「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」第２条第１号に規定する「京町家」※２「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」第１６条に規定する「京町家保全重点取組地区」 |
| ＜参考：京町家の定義＞ |
| ● 昭和２５年以前の建築である | ● 木造の伝統的な構造の建物である（注１） |
| ● ３階建て以下である | ● 一戸建て又は長屋建てである |
| ● 平入の屋根である（注２） | ● 次の形態又は意匠のいずれか１つ以上を有する　・ 通り庭（道に面した出入口から続く細長い形状の土間）　・ 火袋（通り庭上部の吹き抜け部分）　・ 坪庭又は奥庭　・ 通り庇（道に沿って設けられた軒）　・ 格子（伝統的なもの限る（虫籠窓や京格子など））　・ 隣地に接する外壁又は高塀 |
| 注１　柱梁が金物で緊結されていない，又は基礎となる石の上に柱が載っているような部分がある木造建築物などが該当します |
| 注２　道の角にある敷地，道の一端に面する敷地又は路地状の部分のみにより道に接する敷地に存する建築物及び高塀を有する建築物を除く |